

血液学年表

年 代	日 本	備 考
1600		A. v. Leeuwenhoek (1632-1723), J. Swammerdam (1637-80), M. Malpigi (1628-94) 顕微鏡による血球の観察 R. Lower (1631-91), J. B. Denis, 羊血の人への輸血 (1667)
1700		W. Hewson (1739-74) 血液凝固, 血球産生, リンパ系, 胸腺などにつき, 多面にわたり先覚的研究を行う
1800		A. Donne (1801-78) 「Cours de Microscopie」 発刊 (1844) G. Andral (1797-1876) 「Essai d' Hematologie Pathologique」 発刊 (1845) R. Virchow (1821-1902) 白血病の記載 (1845), 細胞病理学説 (1858) W. Neumann (1834-1918), G. Bizzozero (1846-1901) 骨髓造血論
88 (明21)	江馬賤男, 白血病を報告	P. Ehrlich (1854-1915) 血液学, 免疫学, 化学療法の先駆者, Triacid染色の開発 (1877)
89 (明22)	弘田 長, 血友病を報告 笠原光興 } 佐々木惟朗 } 出血性紫斑病を報告 渋谷安斎 }	J. Cohnheim (1839-84), I. Metchnikov (1845-1916), 白血病, 食細胞, 生体防衛能
93 (明26)	阿保任太, 臍帯出血を報告 大谷周庵, 小児白血病を報告 赤沼信吉, 数例の白血病を報告 伊藤愛造, 悪性淋巴腺腫(涙腺肥大あり) を記載	F. Hoppe-Seyler (1825-95) 血色素の構造・機能 E. A. V. Behring (1858-1917) 抗体の発見 (1890)
94 (明27)	佐多愛彦, 血液塗抹標本にTriacid染色を試みる 一柳常次郎, 悪性淋巴腺腫を報告	A. Pappenheim (1870-1916) 血球形態学の進展
97 (明30)	入沢達吉, 「血液病理学及図譜」 刊行	
1900 (明33)	高洲謙一郎, 貧血患者につき Triacid 染色を行なう	K. Landsteiner (1868-1943) ABO式血液型の発見 (1901)
09 (明42)	長与又郎, Freiburg (Prof. Aschoff) より帰国	O. Naegeli (1871-1983) 骨髓芽球の記載 (1900) 「Folia Haematologica」 (Leipzig) 創刊 (1902)
14 (大 3)	清野謙次, Freiburg (Prof. Aschoff) より帰国 「Vitale Karmin-speicherung」 刊行 (Gustav Fisher)	O. Warburg (1883-1970) 血球代謝の研究 P. Morawitz (1879-1936) 凝固の機序 (1905)
18 (大 7)	日本病理学会宿題報告 清野謙次, 「血液及組織白血病, 特に組織球性細胞に就いて」 勝沼精蔵, 「血液及び組織の白血球に就いて」	
24 (大13)	勝沼精蔵, 「Intrazelluläre Oxydation und Indophenolblausynthese」 刊行 (Gustav-Fisher)	「Haematologica」 創刊 (1920) L. Aschoff (1866-1942), RES系の提唱 (1924)
26 (大15)		G. Minot (1885-1950), W. P. Murphy (1892-), 悪法貧血の肝療法成功 (1926)
32 (昭 7)	「臨床病理血液学雑誌」 創刊 (名大勝沼内科)	「Le Sang」 創刊 (1927)

年 代	日 本	備 考
1935 (昭10)	日本内科学会宿題報告「血液疾患の診断及び治療」	
37 (昭12)	小宮悦造, 「赤血球方面」 勝沼精蔵, 「白血球方面」 勝沼精蔵, 日本血液学会創立「日本血液学会雑誌」創刊(創刊時主幹: 清野謙次, 三田村篤志郎, 小宮悦造, 佐藤清, 杉山繁輝) (臨床病理学血液学雑誌を発展的に解消し日本血液学会雑誌とする)	A. Tiselius 電気泳動法の開発 (1937)

年 代	回	日本血液学会会長	開催地	備 考
1938 (昭13)	1	勝沼 精蔵 (名 大)	京 都	
40 (昭15)	2	杉山 繁輝 (京 大)	京 都	第4回日本循環器学会総会と合同開催
41 (昭16)	3	小宮 悦造 (熊 大)	熊 本	T. Svedberg, K. Pedersen 超音波法の開発
	4	富田 朋介 (阪 大)	大 阪	
42 (昭17)	5	佐藤 清 (東医大)	東 京	
43 (昭18)	小会	勝沼 精蔵 (名 大)	名 古 屋	加藤勝治帰朝
	6	浜口 一郎 (新 大)	新 潟	
44 (昭19)	7	菊池 武彦 (京 大)	京 都	
45 (昭20)				名大医学部空襲により焼失し, 学会事務局京大病理学教室天野教授の許へ移る
46 (昭21)	8	菊池 武彦 (京 大)	京 都	第1回国際血液学会(会長J. M. Hill, Dallas, USA)開催, 「Blood」創刊「Revue d'Hématologie」創刊
	秋季	菊池 武彦 (京 大)	京 都	日本血液学会秋期小会開催さる (血液学討議会につづく)
47 (昭22)	9	福島 寛四 (阪 大)	大 阪	
48 (昭23)	10	岩男 督 (東医大)	東 京	ヨーロッパ血液学会創立, 「Acta Haematologica」創刊
	秋季	小川 巖 (名 大)	名 古 屋	
49 (昭24)	11	木原卓三郎 (京 大)	京 都	L. Pauling, H. A. Itano HbS を報告 (分子病の研究はじまる)
50 (昭25)	12	美甘 義夫 (東 大)	東 京	
51 (昭26)	13	佐々 貫之 (東 大)	東 京	
52 (昭27)	14	吉田 常雄 (阪 大)	大 阪	
53 (昭28)	15	三宅 仁 (東 大)	東 京	
54 (昭29)	16	日比野 進 (名 大)	名 古 屋	
55 (昭30)	17	細田 孟 (京府大)	京 都	イギリス血液学会創立, 「British Journal of Haematology」創刊
				ドイツ・オーストリア血液学会創立「Blut」創刊
56 (昭31)	18	田坂 定孝 (東 大)	東 京	「Vox Sanguinis」創刊
				「Sangre」創刊
57 (昭32)	19	小林 忠義 (慶 大)	東 京	「Folia Haematologica」(Frankfurt) 創刊
				米国血液学会創立
58 (昭33)	20	日比野 進 (名 大)	名 古 屋	アジア太平洋血液学会創立
				第1回アジア太平洋血液学会開催(会長 日比野 進, 名古屋)
				「Thrombosis et Diathesis Haemorrhagica」創刊
				F. M. Burnet 「clonal selection theory」提唱

年 代	日 本 血 液 学 会			日 本 臨 床 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開催地	回	会 長	開催地	
1959 (昭34)	21 秋季	冲中 重雄 (東 大) 平木 潔 (岡 大)	東 京 山 岡	1	田坂 定孝 (東 大)	東 京	日本臨床血液学会総会の第1回より第3回迄は日本臨床血液懇談会と称された。
1960 (昭35) 61 (昭36)	22 23 秋季	千田 信行 (阪 大) 天野 重安 (京 大) 加藤 勝治 (東医大)	大 阪 都 京 東	2 3	田坂 定孝 (東 大) 小宮 悦造 (東医大)	東 京 東 京	
62 (昭37)	24 秋季	河北 靖夫 (熊 大) 丸本 晋 (京府大)	熊 本 都 京	4	芳賀 圭五 (名古屋赤十字)	名 古 屋	クリック, ワトソン, ウィルキンス: 核酸の分子構造決定によりノーベル賞受賞
63 (昭38)	25 秋季	大久保 滉 (関西医大) 松岡 松三 (信州大)	大 阪 本 松	春季 5	山形 敬一 (東北大) 吉田 常雄 (阪 大)	仙 台 大 阪	
64 (昭39)	26 秋季	渡辺 漸 (広 大) 岡林 篤 (千葉大)	広 島 千 葉	6 秋季	増田 正典 (京都府立医大) 山岡 憲二 (九 大)	京 都 福 岡	「Scandinavian Journal of Haematology」創刊 「Seminors in Haematology」創刊 第10回国際血液学会 (ストックホルム)
65 (昭40)	27 秋季	中尾 喜久 (東 大) 平福 一郎 (昭和大)	東 京 東 京	7	長村 重之 (東医大)	東 京	ジャコブ, ルウオフ, モノー: 酵素とウイルス合成の遺伝的制御の研究でノーベル賞受賞
66 (昭41)	28 秋季	橋本美智雄 (九 大) 森田 久男 (東邦医大)	福 岡 東 京	8	村上 元孝 (金沢大)	金 沢	ラウス: 発癌ウイルスの発見によりノーベル賞受賞 プルツ尼克, ザックス (イスラエル), プラドレイ, メトカーフ (オーストラリア) によるCFU-Cの発見 第11回国際血液学会 (シドニー)
67 (昭42)	29 秋季	赤崎 兼義 (愛知ガンセンター) 吉田 邦男 (奈良医大)	名 古 屋 奈 良	9	吉田 邦男 (奈良医大)	奈 良	
68 (昭43)	30 秋季	三好 和夫 (徳島大) 柴田 進 (山口大)	徳 島 宇 部	10	柴田 進 (山口大)	宇 部	ホーリー, コラーナ, ニレンバーグ: 遺伝子暗号の解読の研究によりノーベル賞受賞 第12回国際血液学会 (ニューヨーク)
69 (昭44)	31 秋季	脇坂 行一 (京 大) 河北 靖夫 (熊 大)	京 都 熊 本	11	河北 靖夫 (熊 大)	熊 本	デルブリュック, ハーシー, ルリア: ウイルスの増殖機構と遺伝学的構造に関する発見でノーベル賞受賞 「国際実験血液学会」創立
70 (昭45)	32	森田 久男 (東邦医大)	東 京	12	森田 久男 (東邦医大)	東 京	日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会合同開催 第13回国際血液学会 (ミュンヘン)
71 (昭46)	33	岡林 篤 (千葉大)	東 京	13	平木 潔 (岡 大)	岡 山	
72 (昭47)	34	松岡 松三 (新潟大)	新 潟	14	白石 忠雄 (北 大)	札 幌	第14回国際血液学会 (サンパウロ)
73 (昭48)	35	平木 潔 (岡 大)	岡 山	15	長谷川弥人 (慶 大)	東 京	遺伝子組換え技術の発展 (コーエン, ボイヤー)

年 代	日 本 血 液 学 会			日 本 臨 床 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開催地	回	会 長	開催地	
1974 (昭49)	36	木村禱代二 (国立ガンセンター病院)	東 京	16	大久保 滉 (関西医大)	京 都	第15回国際血液学会 (エルサレム)
75 (昭50)	37	増田 正典 (京都府立医大)	京 都	17	松岡 松三 (新潟大)	新 潟	単クローン抗体作製法 (ケーラー, ミルスタイン)
76 (昭51)	38	長谷川弥人 (慶 大)	東 京	18	永井 清保 (兵庫医大)	神 戸	第16回国際血液学会 (京都)
77 (昭52)	39	服部 絢一 (金沢大)	金 沢	19	滝川 清治 (名市大)	名古屋	フェージ全塩基配列の決定 (サンガー) 日本よりATLの報告
1978 (昭53)	40	妹尾左知丸 (岡 大)	岡 山	20	市丸 道人 (長崎大)	長 崎	第17回国際血液学会 (パリ)
79 (昭54)	41	安部 英 (帝京大)	東 京	21	漆崎 一郎 (札幌医大)	札 幌	
80 (昭55)	42	小島 瑞 (筑波大)	東 京	22	安部 英 (帝京大)	東 京	第18回国際血液学会 (モントリオール) エイズ症例の報告はじまる 血小板型のvWD発見
81 (昭56)	43	太田 和雄 (愛知ガンセンター)	名古屋	23	服部 絢一 (金沢大)	金 沢	AIDS症例米国で報告 クローンマウスの作成成功
82 (昭57)	44	清水 盈行 (昭和大)	東 京	24	深瀬 政市 (島根大)	出 雲	第19回国際血液学会 (ブタペスト) MDSの提唱 (ベンネット) CMLにhydroxyureaの有効性確認 ATLのウイルスがレトロウイルスであることを同定
83 (昭58)	45	永井 清保 (兵庫医大)	神 戸	25	天木 一太 (日 大)	東 京	LAVをAIDS病原体として報告 (Barré - Sinoussi ら) PCR法開発 (マリス) HIVウイルス分離成功
84 (昭59)	46	花岡 正男 (京 大)	京 都	26	山田 一正 (名 大)	名古屋	第20回国際血液学会 (ブエノスアイレス) HTLV IIIをAIDS病原体として報告 (Gallo) CMLでBCR/ABLキメラ遺伝子形成発見 モノクローナル抗体作製でノーベル賞受賞 (イエルネ、ケーラー、ミルシュタイン) 本邦で初のエイズ患者報告
85 (昭60)	47	小宮 正文 (筑波大)	東 京	27	高月 清 (熊本大)	熊 本	血友病で第Ⅲ因子製剤によるエイズ患者報告 (厚生省) エリスロポエチンのクローニング成功

年 代	日 本 血 液 学 会			日 本 臨 床 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開催地	回	会 長	開催地	
1986 (昭61)	48	刈米 重夫 (福島医大)	福 島	28	眞木 正博 (秋田大)	秋 田	第21回国際血液学会(シドニー) ヒトゲノム解析計画スタート Ph (+) ALLのm-bcr G-CSFのクローニング成功 チェルノブイリ原発事故発生 CMLにインターフェロンの 有効性確認 エリスロポエチンの臨床応用 開始
87 (昭62)	49	三輪 史朗 (東 大)	東 京	29	奥田 邦雄 (千葉大)	千 葉	第16回国際実験血液会議(東京) Leukemia創刊 Scand J. Haematol.がEuropean J. Haematol.に誌名変更 利根川進ノーベル生理学医学 賞受賞(抗体多様性の生成理 論)
88 (昭63)	50	内野 治人 (京 大)	京 都	30	木村 郁郎 (岡山大)	岡 山	第22回国際血液学会(ミラノ) ATRAによるM3白血病分化 誘導療法の発見(ファン) 自己末梢幹細胞移植 ヒトゲノムプロジェクト発足 (米)
89 (平元)	51	前川 正 (群馬大)	前 橋	31	大北 威 (国立名古屋病院)	名古屋	第12回国際血栓止血学会(東京) 臍帯血幹細胞移植 レトロウイルス癌遺伝子が細胞 起源であることの発見に ノーベル賞(ピショップ, バーマス)
90 (平2)	52	高久 史磨 (東 大)	東 京	32	宮崎 保 (北 大)	札 幌	第23回国際血液学会(ボスト ン) 第2回日中シンポジウム(名 古屋) 骨髄移植でノーベル賞受賞 (トーマス) p210蛋白導入でCML様トラ ンスジェニックマウス作製 ADA欠損症へ遺伝子治療 (遺伝子治療開始)
91 (平3)	53	安永幸二郎 (関西医大)	京 都	33	野村 武夫 (日本医大)	東 京	本邦で骨髄バンク設立
92 (平4)	54	青木 延雄 (東京医科歯科大)	東 京	34	堀内 篤 (近 大)	大 阪	第24回国際血液学会 (ロンドン)
93 (平5)	55	白川 茂 (三重大)	四日市	35	藏本 淳 (広 大)	広 島	FISH法開発 PNHにおけるPIG-A遺伝子発 見(木下) 同種末梢血幹細胞移植

年 代	日 本 血 液 学 会			日 本 臨 床 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開催地	回	会 長	開催地	
1994 (平6)	56	柴田 昭 (新潟大)	新 潟	36	外山 圭助 (東京医大)	東 京	第25回国際血液学会 (メキシコ) 悪性リンパ腫のREAL分類提唱 CD20モノクローナル抗体療法開発 トロンボポエチンの遺伝子クローニング成功
95 (平7)	57	平野 正美 (藤田保健衛生大)	名古屋	37	中村 徹 (福井医大)	京 都	
96 (平8)	58	三浦 恭定 (自治医科大)	宇都宮	38	平嶋 邦猛 (埼玉医大)	大 宮	第26回国際血液学会 (シンガポール) 第4回日中シンポジウム (京都) 慢性好中球性白血病で μ -bcrとp230 ^{bcr/abl} 発見 CMLに対する分子標的療法の試みはじまる (STI571)
97 (平9)	59	大熊 稔 (京 大)	京 都	39	鶴岡 延熹 (昭和大)	東 京	非血縁ドナー臍帯血幹細胞移植 体細胞クローンヒツジの実験
98 (平10)	60	正岡 徹 (大阪成人病センター)	大 阪	40	松田 保 (金沢大)	金 沢	第27回国際血液学会 (アムステルダム) ミニ移植開始 ヒトのES細胞株樹立 体細胞クローン羊ドリーが雌の子羊を出産
99 (平11)	61	溝口 秀昭 (東京女子医大)	東 京	41	三浦 亮 (秋田大)	秋 田	東海村臨界事故 多発性骨髄腫に対するサリドマイド療法 再生医学スタート 悪性リンパ腫 } 新WHO分類 急性白血病 }
2000 (平12)	62	仁保 喜之 (九 大)	福 岡	42	八幡 義人 (川崎医大)	倉 敷	第28回国際血液学会 (トロント) ヒトゲノム解読ほぼ終了と発表 (クリントン大統領) microarray法開発 ヘルシンキ宣言の改訂
01 (平13)	63	齋藤 英彦 (名 大)	名古屋	43	原 宏 (兵庫医大)	神 戸	第30回国際実験血液会議 (東京) ITPにピロリ菌除菌が有効と報告

年 代	日 本 血 液 学 会			日 本 臨 床 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開 催 地	回	会 長	開 催 地	
02 (平14)	同 時 期 開 催 総 会						日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会同時開催 第29回国際血液学会(ソウル) 染色体SKY法開発 ヒトゲノムプロジェクトの完成版が公開される
	64	浅野 茂隆 (東大医科研)	横 浜	44	池田 康夫 (慶應大)	横 浜	
2003 (平15)	同 時 期 開 催 総 会						日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会同時開催 第10回アジア・太平洋血液学会議(名古屋) 第1回アジア血液学会議(神戸) 7つのヒト染色体のDNA解析終了宣言 閉塞性動脈障害に対する自家骨髄細胞局所注射の有効性報告
	65	北村 幸彦 (阪 大)	大 阪	45	朝長万左男 (長崎大)	大 阪	
04 (平16)	同 時 期 開 催 総 会						日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会同時開催 遺伝子治療を受けたリンパ腫患者2例に白血病発症
	66	内山 卓 (京 大)	京 都	46	小峰 光博 (昭和大)	京 都	
05 (平17)	合 同 総 会						日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会合同開催 第30回国際血液学会(イスタンブール)
	67	元吉 和夫 (防衛医大)	横 浜	47	大野 竜三 (愛知県がんセンター)	横 浜	
06 (平18)	合 同 総 会						日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会合同開催 第31回国際血液学会(サンファン, プエルトリコ) 山中 伸弥らが、人工多能性幹細胞(iPS細胞)を生成する技術を発表する
	68	原田 実根 (九 大)	福 岡	48	福原 資郎 (関西医大)	福 岡	
07 (平19)	合 同 総 会						日本血液学会総会, 日本臨床血液学会総会合同開催
	69	堀田 知光 (名古屋医療センター)	横 浜	49	押味 和夫 (順天堂大)	横 浜	

年 代	日 本 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開 催 地	
2008 (平20)	70	須田 年生 (慶應大)	京 都	日本血液学会/日本臨床血液学会が統合 第32回国際血液学会(バンコク)
09 (平21)	71	中畑 龍俊 (京 大)	京 都	

年 代	日 本 血 液 学 会			備 考
	回	会 長	開催地	
10 (平22)	72	檀 和夫 (日医大)	横 浜	第1回JSH国際シンポジウム 開催(秋田) 会長・澤田 賢一 第33回国際血液学会(エルサ レム, イスラエル)
11 (平23)	73	直江 知樹 (名 大)	名古屋	第2回JSH国際シンポジウム 開催(長崎) 会長・宮崎 泰司 第23回国際血栓止血学会(京 都)
12 (平24)	74	小澤 敬也 (自治医大)	京 都	第3回JSH国際シンポジウム 開催(川越) 会長・木崎 昌弘 第34回国際血液学会(カンク ン, メキシコ) 山中 伸弥がノーベル生理 学・医学賞を受賞する
13 (平25)	75	澤田 賢一 (秋田大)	札 幌	第4回JSH国際シンポジウム 開催(愛媛) 会長・安川 正貴

血 液 学 討 議 会

	主 題	会 長	開 催 地
第 1 回 (昭22)	赤血球系・血液蛋白	飯 塚 直 彦	京 都
第 2 回 (昭23)	臓器穿刺・リン巴及リン巴球	小 川 巖	名 古 屋
第 3 回 (昭24)	白血球並防衛	緒 方 準 一	奈 良
第 4 回 (昭25)	遺伝性血液疾患・出血性素質	渡 辺 漸	宮 島
第 5 回 (昭26)	骨髓	戸 塚 忠 政	松 本
第 6 回 (昭27)	リン巴組織	河 北 靖 夫	別 府
第 7 回 (昭28)	脾臓・網内系及び再生不良性貧血	森 田 久 男	東 京